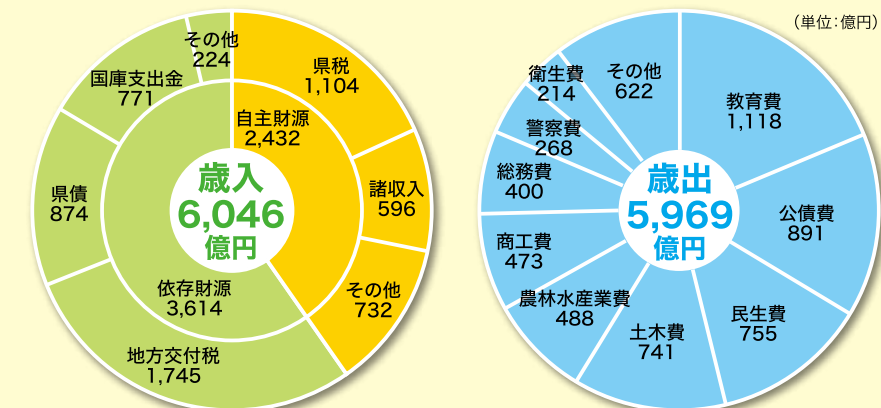


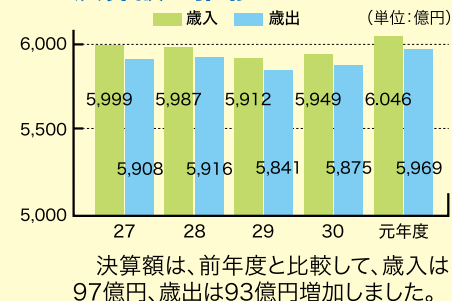
令和元年度の決算がまとまりました

一般会計

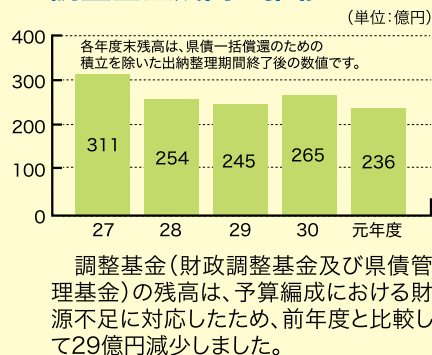
一般会計の決算額は、歳入が6,046億3,528万円、歳出が5,968億5,173万円で、歳入歳出差引額（形式収支）は77億8,355万円の黒字となりました。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を控除した実質収支は、49億7,485万円の黒字となりました。



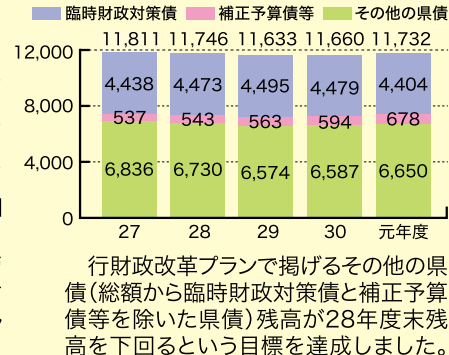
決算額の推移



調整基金残高の推移



県債残高の推移



公営企業会計

総収益は134億438万円、総費用は93億4,561万円で、純利益は前年度比14.1%増の40億5,878万円となりました。

これは、台風による影響で10月の降水量が多かったことや暖冬による早期融雪などで水力発電量が増加し、電気事業の料金収入が増加したことなどによるものです。

各会計別の決算の状況

項 目	電気事業	工業用水道事業	公 営 企 業 資産運用事業	水道用水 供給事業	合 計
総収益	6,204	569	147	6,484	13,404
総費用	3,035	433	115	5,762	9,346
純利益 (対前年度 増減率)	3,169 (8.5%)	136 (22.5%)	31 (△45.6%)	722 (54.5%)	4,059 (14.1%)

病院事業会計

総収益は400億9,000万円、総費用が401億9,900万円で、総収支は1億900万円の純損失となりました。

平成25年度以降7期連続の経常損失となり、厳しい経営状況にあります。

県立病院の決算の状況

項 目	中央病院	新庄病院	河北病院	こころの医療センター	本 局	合 計
総収益	24,650	8,717	3,376	3,109	238	40,090
総費用	23,855	8,792	4,150	3,105	297	40,199
総収支	795	△75	△774	4	△59	△109

平成25年度以降の経常収支の推移

項 目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
経常収支	△501	△1,032	△1,951	△1,866	△324	△926	△444

※経常収支＝総収支－特別損益

※単位未満を四捨五入しているため、合計や差し引きが一致しないことがあります。

▶問い合わせ

一 般 会 計	会計局会計課……………☎023-630-2716	※調整基金、県債については総務部財政課……………☎023-630-2044
公営企業会計	企業局総務企画課……………☎023-630-2735	病院事業会計 病院事業局県立病院課……………☎023-630-3104

杉沢比山(遊佐町)

黒川能(鶴岡市)

林家舞楽(河北町)

山形県の民俗芸能を次世代へ！

民俗 芸能 とは

私たちが暮らす地域に古くから受け継がれてきた、祭りや伝統行事の中で行われる歌や踊りです。プロの舞台芸能と違い、開催日時や場所が決まっており、地域の人々によって演じられ、「お祝いのためのもの」や「災いや穢れ^{けが}を追い払うもの」等に分類されます。県内には、国から文化財指定を受けている3つの芸能(上の写真)をはじめ、田植踊やシシ踊り、農村歌舞伎など100を超えるものが現存します。



地域の絆と個性を育む民俗芸能



●人と人をつなぎます！

◎祭りや伝統行事には、多くの人々の関わりが不可欠です。

◎行事の練習等を通して「大人と子ども」「親と親」「子どもと子ども」など、多くのつながりが生まれ、地域の絆を深めます。

◎民俗芸能で培われた絆が地域社会を支えてきました。

●人を育てます！

◎祭りや伝統行事への関わりを通して、地域に伝わる信仰や歴史を学ぶとともに、地元への誇りと愛着を育みます。

◎礼儀作法やしきたりに触れ、自然への畏れ^{おそ}など先人の考え方を知ることが私たちの視野を広げます。



民俗芸能を取り巻く課題

少子高齢化や人口減少により、民俗芸能の後継者や祭り等の担い手の確保が年々困難になっています。そして、これらの課題は、それぞれの地域や民俗芸能団体だけで解決することが難しくなっています。

県では、地域の宝である民俗芸能が将来にわたり継承されるよう取り組みを行っています。

課題解決を図るための基盤づくりや情報交換を行うためのネットワークづくりを進めています。

民俗芸能団体懇話会

県では平成23年度から民俗芸能団体に対し、ネットワークづくりにむけた働きかけを行っています。現在、最上・置賜地域では、地域の民俗芸能団体同士が主体の懇話会組織が立ち上がっており、継続して情報交換が行われています。

さらに、最上地域では、独自にフェスティバルを企画し、毎年11月にゆめりあ特設ステージ(新庄市)で開催しています。



最上地区民俗芸能団体懇話会
会長 中川 昭弘 さん
(川ノ内囃子保存会会長)
芸能分野が違って、団体同士で懇親を深め、連携を図っています。何百年も続いてきた文化を絶やさぬよう、世代を超えて力を合わせ、継承活動を進めていきます。

団体の継承意欲の後押しと、皆さんに地域の文化に関心をもっていただけるよう、発表の場を設けています。

ふるさと芸能のつどい

平成26年度から、山形市七日町大通りを会場に、民俗芸能を中心とした団体を県内4地域から招き、特色ある芸能の発表を行っていただいています。多くの人に見てもらうことで、それぞれの技にも、より一層磨きがかかります。

民俗芸能に限らず、皆さんの地域にどのような文化が伝承されているか、知っていますか？

QRコードから、山形の伝統文化をぜひご覧ください。



皆さん、地元や県内各地のお祭り等に足を運び、実際に民俗芸能に触れてみてください。
そして、本県の特色ある文化を次の世代につないでいきましょう！

▶問い合わせ ◎ 文化振興・文化財課 ☎023-630-3341

県内の民俗芸能の詳細はこちら→

